スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

群馬県 沼田市

自 治 体 名 ： 群馬県沼田市
担 当 課 名 ： 教育委員会学校教育課
電 話 番 号 ： ０２７８-２３-２１１１

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

面積	443.46 ㎢
人口	43,329 人 令和7年2月末現在
公立中学校数	9 校
公立中学校生徒数	989 人
部活動数	75 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域展開における市区町村の現状・課題

○現在、本市の運動部活動は、各中学校ごとに活動を行っており、合計75の部活動が活動をしている。

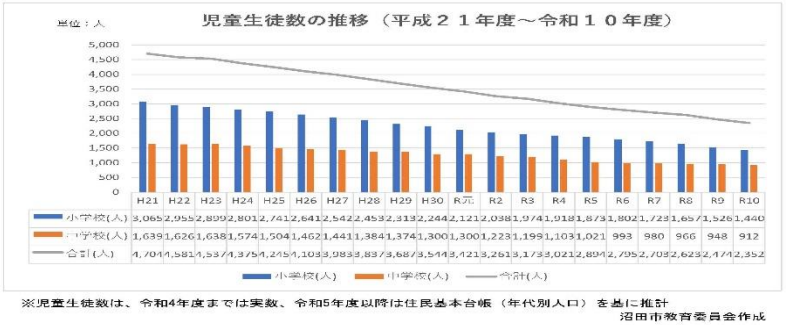
○部活動ごとに人数減少が進んでおり、これまで通りの体制で運営することが難しくなっていること、学校によって部活動数の差が大きく、体験機会の差や指導者等による格差が生じていること、これまでの指導体制を継続していることで学校の働き方改革が難しくなっていることなどが挙げられる。

○令和６年度に関しては部活動指導員が５人に留まっており、さらに専門的な知識・技能を有する指導者の人材の確保や、継続して指導に従事できる仕組みづくりを行うことが求められる。

○教員が授業準備や研修の時間を十分に確保できるように、学校の働き方改革を推進し、時間外の勤務時間を減少させることが求められる。

○さらに、市内の中学生が様々なスポーツや文化芸術活動に親しめるよう、学校や市の実情に応じた環境の整備を進める必要がある。

沼田市立小中学校児童生徒数の推移



※児童生徒数は、令和4年度までは実数、令和5年度以降は住民基本台帳（年代別人口）を基に推計

沼田市教育委員会作成

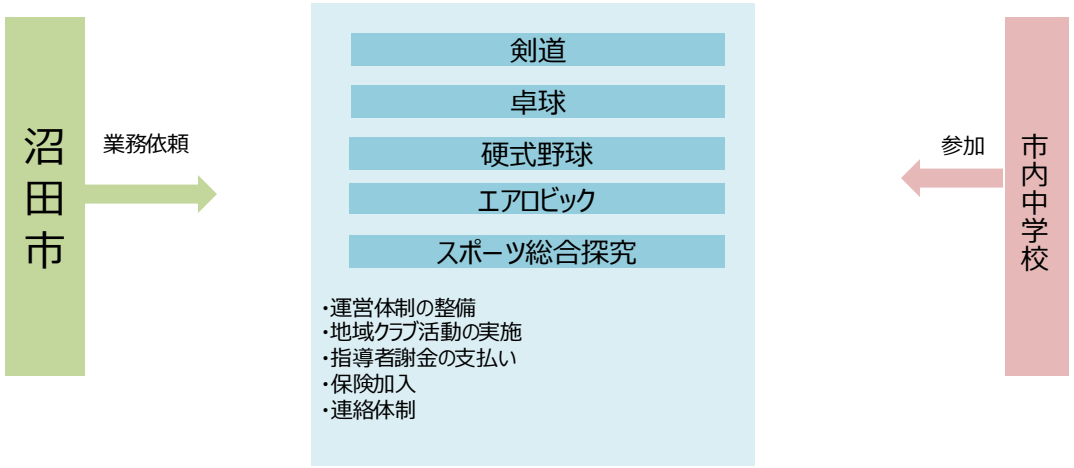
【課題】
沼田市の児童生徒数の推移をを鑑みると、今後も減少傾向が進んでいくことが想定される。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会

・学校教育課　学校部活動・事務全般担当
・生涯学習課　地域文化芸術活動担当
・スポーツ振興課　スポーツクラブ活動の受け皿の拡大、施設担当

◉首長部局

・なし

年間の事業スケジュール

令和６年４月～	・各団体活動内容の周知 ・各校へ要項等の配布　申込 ・各団体の活動実施
令和６年６月	・沼田市クラブ活動 推進協議会①
令和７年２月	・「部活動の地域展開を 考える」座談会
令和７年３月	・沼田市地域クラブ活動 推進協議会② ・各団体との打ち合わせ

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	９校	実施した地域クラブ総数	５クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動をした形のクラブ数（及び移行された部活動数）		３クラブ（野球・卓球・剣道）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		２クラブ
全体の指導者数	77人	全体の運営スタッフ数	68人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
沼田クラブ	総合型地域スポーツクラブ	硬式野球	月４ 回／週 １ 回	9時から12時	利根沼田中学生対象	8月から11月	地域の高校野球グランド	10人	10人	月会費なし	その他：地域クラブ
利根沼田卓球協会	連盟・協会	卓球	月１ 回程度	10時から16時	ＺＡＣＲＯＳアリーナぬまた（沼田市民体育館）	6月・8月・9月・11月・12月・3月	ＺＡＣＲＯＳアリーナぬまた（沼田市民体育館）	39人	39人	月会費なし	そのほか：地域クラブ
白沢少年少女剣道教室	競技団体	剣道	月１２ 回／週 ３ 回程度	18時から21時	白沢中学校を中心に特に制限なし	4月から3月	白沢中学校武道館	４人	15人	月会費500円（（貸与防具修理費等）	その他：地域クラブ

③その他、体験会やイベント等の開催実績

●特になし

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
うすねニュースポーツクラブ	総合型地域スポーツクラブ	エアロビック	月４回／週１回	月曜日と土曜日	沼田市内小中学校 児童生徒	4月～3月	小中学校屋内運動場	１３人	2人	月会費なし	そのほか：地域クラブ
うすねニュースポーツクラブ	総合型地域スポーツクラブ	スポーツ探求	月５回程度	平日15時から17時 休日（月1回程度）	沼田市内小中学校 児童生徒	4月から3月	学校グランド又は学校体育館	１１人	2人	年会費800円	そのほか：地域クラブ

③その他、体験会やイベント等の開催実績

●特になし

2.実証内容と成果

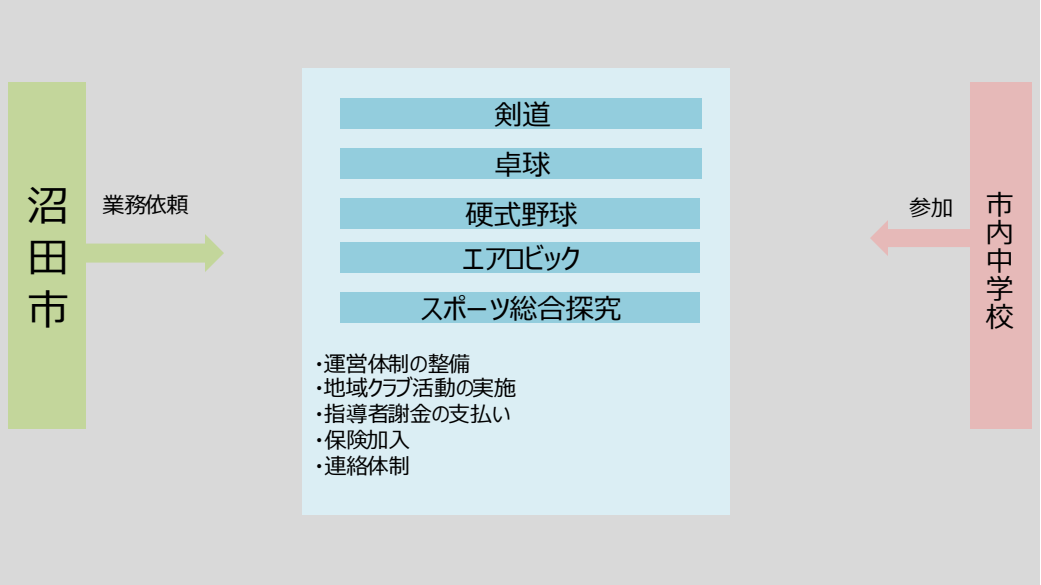
スポーツ庁

主な取組例

●沼田クラブ　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	硬式野球
運営団体名	沼田クラブ
期間と日数	８月 ～ 11月 月４回程度
指導者の主な属性	公務員
活動場所	地域の高校野球グランドなど
主な移動手段	保護者送迎
１人あたりの参加会費等（年額）	なし
１人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒１人あたり：800円/年 指導者１人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●統括責任者

役割：活動における管理者として、生徒、保護者との連携を行う

●指導者　10名

役割：活動における主任者として、生徒への指導を行う

●運営補助者

役割：活動における連絡、調整、準備等

2.実証内容と成果

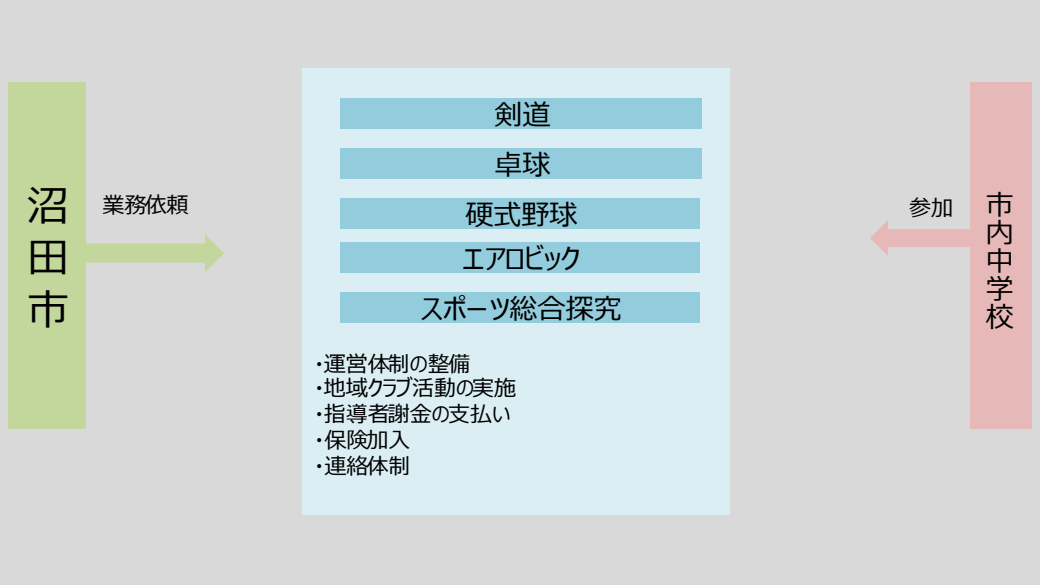
スポーツ庁

主な取組例

●利根沼田卓球協会　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	卓球
運営団体名	利根沼田卓球協会
期間と日数	6月･8月･9月･11月･12月･3月
指導者の主な属性	公務員等
活動場所	ZACROSアリーナぬまた（沼田市民体育館）
主な移動手段	保護者送迎
１人あたりの参加会費等（年額）	なし
１人あたりの保険料	参加者の個人負担

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●統括責任者

役割：活動における管理者として、生徒、保護者との連携を行う

●指導者　39名

役割：活動における主任者として、生徒への指導を行う

●運営補助者

役割：活動における連絡、調整、準備等

2.実証内容と成果

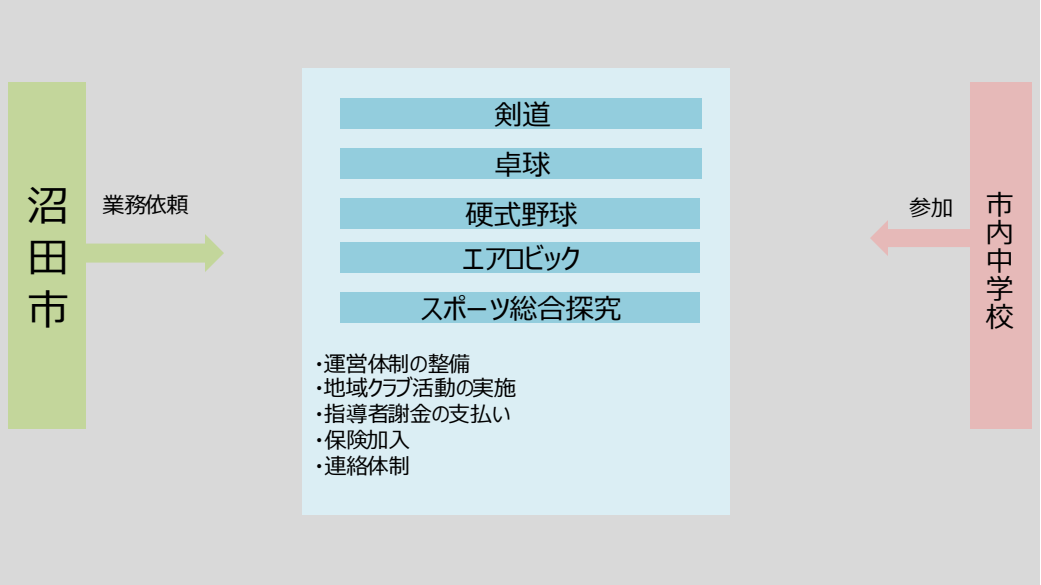
スポーツ庁

主な取組例

●白沢少年少女剣道教室　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	剣道
運営団体名	白沢少年少女剣道教室
期間と日数	4月から3月 平日3回程度/週 休日1回程度/月
指導者の主な属性	公務員等
活動場所	白沢中学校武道館
主な移動手段	保護者送迎
１人あたりの参加会費等（年額）	活動費（貸与防具修理費等）月額500円
１人あたりの保険料	スポーツ傷害保険（個人負担）

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●統括責任者

役割：活動における管理者として、生徒、保護者との連携を行う

●指導者　４名

役割：活動における主任者として、生徒への指導を行う

●運営補助者

役割：活動における連絡、調整、準備等

2.実証内容と成果

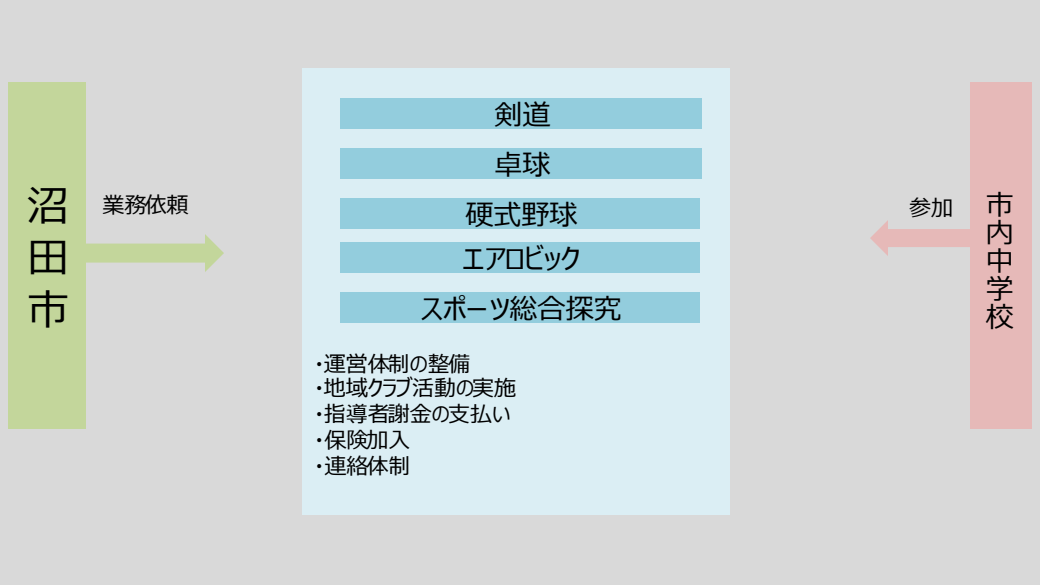
スポーツ庁

主な取組例

●うすねニュースポーツクラブ　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	エアロビック等
運営団体名	うすねニュースポーツクラブ
期間と日数	4月から3月 平日　毎週土曜日２回程度 休日　毎月月曜日２回程度
指導者の主な属性	群馬県健康ｽﾎﾟｰﾂ指導者等
活動場所	小中学校等の屋内運動場
主な移動手段	保護者送迎
１人あたりの参加会費等（年額）	なし
１人あたりの保険料	行事（レクリエーション）参加者傷害保険（包括契約）

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●統括責任者

役割：活動における管理者として、生徒、保護者との連携を行う

●指導者　13名

役割：活動における主任者として、生徒への指導を行う

●運営補助者

役割：活動における連絡、調整、準備等

2.実証内容と成果

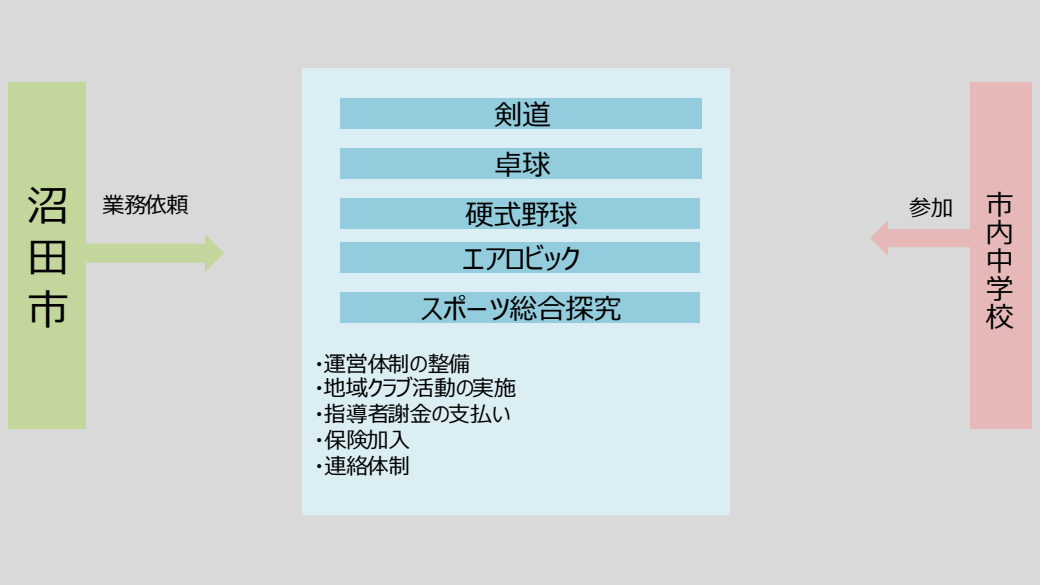
スポーツ庁

主な取組例

●うすねニュースポーツクラブ　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	スポーツ総合探求クラブ
運営団体名	うすねニュースポーツクラブ
期間と日数	4月から3月 月１回程度（部活動が休みの週末） 平日：毎週月曜日　15時～17時
指導者の主な属性	高校・専門・大学　非常勤講師等
活動場所	小中学校のグランドや体育館
主な移動手段	保護者送迎
１人あたりの参加会費等（年額）	年会費800円（保険代として）
１人あたりの保険料	スポーツ安全保険 （公益財団法人スポーツ安全協会）

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●統括責任者

役割：活動における管理者として、生徒、保護者との連携を行う

●指導者　11名

役割：活動における主任者として、生徒への指導を行う

●運営補助者

役割：活動における連絡、調整、準備等

2.実証内容と成果

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

○沼田市教育委員会学校教育課の部活動地域展開担当者が関係団体と連絡を取りながら進めた。

○地域展開の取組を知ってもらうために、リーフレットを作成し、学校や保護者に周知したり、市のホームページに掲載したりした。

取組の成果

○沼田市地域クラブ活動推進協議会を実施し、教育委員会事務局と関係団体とが情報共有を行い、共通理解を図ることができた。また、参加団体の希望もあり、他の団体との情報交換や取組内容の周知について座談会を実施し、多くの参加者に来ていただき、地域展開の趣旨や沼田市の取組の方向性等に理解を得られた。

○本活動に対して各団体への後援を行い、各学校や各家庭、児童生徒へチラシ等を配布し、活動団体の取組や活動内容、活動日程などを周知することができた。

○今年度初めての実証事業だったが、まず５団体で実施できたことが成果である。当初は月１回程度と想定していたが、平日や休日に複数日活動を行っており、子供たちの活動機会の確保につなげることができた。

○部活動の地域展開は、世代を超え、子供から大人まで、一緒になって取り組めるよい機会となっている。また、徐々にではあるが、他の団体や文化面でも地域展開の動きが出てきている。

コーディネーターの具体的な動きの実績

配置なし

今後の課題と対応方針

○今後も関係部署や団体との連携を図り、連携体制の構築や情報交換に努めるとともに、地域展開の趣旨を学校・地域・子供・保護者に継続して周知・理解してもらうことが必要である。

○中学生に限らず、幅広い世代で活動ができると、指導者の確保につながったり、平日の活動も実現できたりして、より地域展開が促進されると感じる。

2.実証内容と成果

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

○競技や種目の拡大に向けて、各関係団体に働きかけ、周知や理解を図りながら指導者を確保していく。

種目　／　資格有無

○エアロビック　資格有

○スポーツ総合探究　資格有

○硬式野球　資格無

○剣道　資格有

○卓球　資格無

取組の成果と課題

○利根沼田卓球協会、白沢少年少女剣道教室、ぬまたクラブ、うすねニュースポーツクラブについては、すでにこれまで児童生徒の指導に携わっている指導者がいるため、地域展開の取組を理解、協力していただき、平日や休日の部活動の段階的な地域展開を推進することができた。

○競技や種目の拡大に向けて、各関係団体に働きかけ、周知や理解を図りながら指導者を確保していけるよう検討していく。実証事業を行った各団体には、指導者への謝礼等を支払うことができたが、別の団体に地域展開を理解・協力してもらうとなると、受益者負担をしたり市の予算をさらに確保したりする必要がある。

○指導者の確保だけでなく、指導者への謝金、クラブ活動の維持・運営に必要なコスト、受益者負担等の公的資金の適切なバランスの確保が必要となるため、今後の検討課題であると考えている。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

○利根沼田卓球協会では、令和５年度から市内の小学生から大人までの幅広い年齢層を対象に、「部活動応援プロジェクト」と称して、練習や試合を行う部活動の地域展開に伴う活動を試験的に行っており、白沢少年少女剣道教室、沼田クラブ（硬式野球）、うすねニュースポーツクラブについては、令和６年度から活動を行っている。

取組の成果

○各関係団体には、基本的に市内全域の児童や生徒を対象として活動することで、体験機会を設定したり、学校部活動にないスポーツなどに親しめたりする環境整備を整えることとが少しずつではあるができてきた。

○沼田市地域クラブ活動推進協議会を実施し、教育委員会事務局と関係団体と情報共有を行い、共通理解を図かることができた。

今後の課題と対応方針

○令和６年度の活動実績を継続しながら、より多くの活動の受け皿を増やせるよう検討していく。

○各関係団体との情報交換や連携を密にし、事業内容の検討と実践的な取組をしていく。

○指導者の質を確保しながら、さらに休日や平日に部活動を担っていただける指導者、活動団体の受け皿を広げていくのは容易ではない。部活動指導員のように、平日も含めて休日の活動をみていただけると、学校は連携が取りやすいが、休日のみ地域のクラブで活動を行うとなると、中体連主催の大会や練習試合など、学校との連携が難しい。

○さらに指導者の確保となると、受益者負担をしたり市の予算をさらに確保したりする必要がある。指導者の確保だけでなく、指導者への謝金、クラブ活動の維持・運営に必要なコスト、受益者負担等の公的資金の適切なバランスの確保が必要となる。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　エ：面的・広域的な取組

取組事項

○利根沼田卓球協会は、小学生から一般、白沢少年少女剣道教室は未就学児から、エアロビックは小学生から受け入れている。また、実施校区に限らず市内全域の子供を受け入れた活動を行っている。





取組の成果

○意図的な取組ではなかったが、各団体の方針により、中学生のみならず、小学生や高校生、一般を含む多世代交流の場となっている。




今後の課題と対応方針

○市内の児童生徒だけでなく、近隣の町村とも連携することを検討していく。



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実②

取組の成果

○卓球は競技の特性上、中学生に限らず、小学生、高校生、大人まで幅広い層の多世代交流の取組となっている。日本チャンピオンをはじめ、関東大会での上位入賞、県大会優勝者など、競技者・指導者として実績あるスタッフが関わり、質の高い指導・支援が実現している。利根沼田卓球協会が主催・主管している各種大会に合わせて実施しているため、敗退した選手も多くの試合を行えたり、課題解決に向けて個人のニーズに応じた強化練習が可能となったりしているほか、運営に係るスタッフも別日に出てくることがないため、負担の少ない取組になっている。

○学校においては、先生方が活動の様子を見学するようになり、部活動の地域展開に対する取組の理解と、今後の広がりを感じられた。

○子供たちは、多様な運動に対応できるようになり、いろいろな運動を体験することにより多分野の機能の発達につながった。また、スポーツを楽しんだり主体的に考えたりすることができる様子が見られた。

今後の課題と対応方針

○継続的に指導をしていただける指導者の確保と、学校や地域との連携を図っていくことは必要であり、活動に必要な十分な予算の確保（行政）や地域・保護者への効果的な周知についても今後の検討課題である。

○中学校の休日部活動は土曜日に実施されることが多いため、日程が重複しない日曜日実施を多く設定している団体もあり、土・日曜日のどちらかは休むというスタイルが習慣付いているため、参加者が伸び悩んでいる一面もある。また、活動場所の確保も難しいこともある。

○部活動の地域展開は、情報として知ってはいるが、自分や家族に対する直接的な改革としてとらえていないため、地域における理解と協力が必要である。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等①

取組事項

○要保護及び準要保護対象の児童生徒は、市全体の児童生徒数の約５％
であり、参加費用負担支援費として予算を取たったが、今年度の活動で困窮
世帯の参加の報告はなかった。

今後の課題と対応方針

○困窮世帯の児童生徒への支援に関しては、事業を実施しながら研究を進めていく必要がある。
（令和７年度も支援費として市の予算は確保している。）

●取組項目名　キ：学校施設の活用等

取組事項

○地域スポーツクラブ活動のために学校施設を使用する場合の優先利用や利用ルール、市の施設を使用する際に使用料を減免できる仕組みを検討する。

取組の成果

○市の施設の減免については、どの団体でも可能というわけではなく、市教育委員会事務局が地域展開の活動ができるとして認めた団体（公的な団体であること）として、基準の明確化や申請方法の仕組みなどを検討中である。

今後の課題と対応方針

○来年度に向けて、スポーツ振興課など関係する団体と協議を重ね、基準の明確化や申請方法などを示し、市ホームページに記載などし、幅広く周知を行っていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等②

資料

別紙3-1　事業経費内訳【スポーツ庁委託事業費申請額（市区町村）】

地方公共団体コードを入力→	102067	群馬県沼田市
		単位：円
スポーツ庁委託事業費申請額（※）		1,420,500

支出	単位：円
スポーツ庁委託事業において実施する取組に要する経費	1,492,500
都道府県取組	0
市区町村取組	1,492,500
スポーツ庁委託事業とは別に市区町村が独自に実施予定の取組に要する経費	0
合計	1,492,500

収入	単位：円
自治体において確保する財源	72,000
都道府県単費	0
市区町村単費	72,000
受益者負担	0
その他収入	0
スポーツ庁委託事業費申請額（※）	1,420,500
合計	1,492,500

（※）スポーツ庁委託事業費申請額＝支出合計額-自治体において確保する財源額

2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

○休日の部活動の段階的な地域展開に関して、児童生徒、保護者、教員、関係団体及び地域の方向けにリーフレットを作成し、配布や市のホームページにアップするなどして周知や理解を図ることができた。今年度は、沼田市地域クラブ活動推進協議会を２回開催し、各関係団体や学識経験者等と地域展開の取組の現状について情報交換を行い、本市の方向性の確認や現状、課題等について把握することができた。

課題については、やはり団体の受け皿の拡充と指導者の確保である。そこについては課題を明確化しながら、関係部署との連携を強化して取り組んでいく必要がある。

○各関係団体には、基本的に市内全域の児童や生徒を対象として活動することで、体験機会を設定にしたり、学校部活動にないスポーツなどを親しめたりする環境を整えることに尽力いただくことができた。また、「沼田の新たな学校部活動～中学生のNECHUを支える～」をテーマに、保護者・教職員・スポーツ・文化芸術団体関係者等を講師とする座談会を開催し、共通理解を図る一助とできたことで、市全体として取り組んでいく意識の向上につながったと考えている。ただ、部活動指導者とよく意見交換し、学校部活動指導者の意向をよく聞くとともに、地域スポーツ活動の趣旨を学校はもとより、生徒・保護者に理解してもらうことも必要である。

●成果の評価

○手探りな状態で始めた実証事業だったが、各関係団体とも連携を図り、進められたことが成果である。関係団体とは、基本的に市内全域の児童や生徒を対象として活動することで、体験機会を設定したり、学校部活動にないスポーツなどを親しめたりする環境整備を行うことを目的として取り組んでいただき、参加した生徒から「楽しかった・主体的に取り組むことができた」などの報告が挙げられた。また、技術的な指導も児童生徒の技術力向上につながった。その中で、中学校の休日部活動は土曜日に実施されることが多いため、日程が重複しない日曜日実施を多く設定しているが、土・日曜日のどちらかは休むというスタイルが習慣付いているため、参加者が伸び悩んでいる。また、部活動の地域展開は、情報として知ってはいるが、自分や家族に対する直接的な改革としてとらえていない側面があると感じられるため、更なる地域・保護者・各団体の理解と協力が必要である。

●今後に向けて

○中学生に限らず、幅広い世代で活動ができると、指導者の確保につながったり、平日の活動も実現できたり、地域で取り組めるようになり、より地域展開が促進されると感じるため、活動の趣旨を学校・地域・子供・保護者に効果的に周知・理解してもらえるようにしていく必要もある。

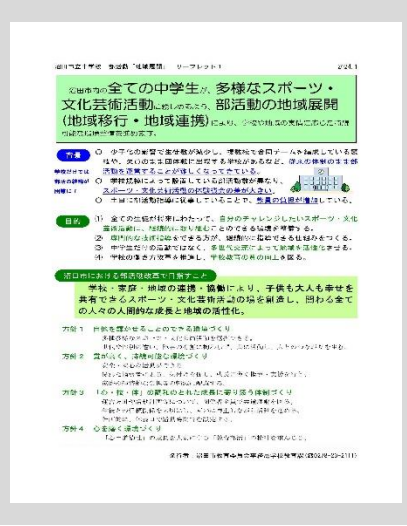
○関係部署の連携を図り、連携体制の構築、実証事業参加団体や各団体の指導者との情報交換や連携をこれからも強化していく。

○平日も関わっていける指導者の確保と枠組み、多くの受け皿を増やせるような土台となる環境作りを充実することができるよう、今年度の活動実績を継続しながら検討していく必要がある。

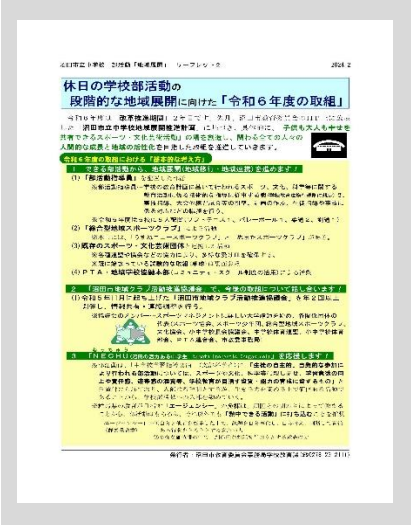
2.実証内容と成果③

スポーツ庁

アンケート結果・広報資料

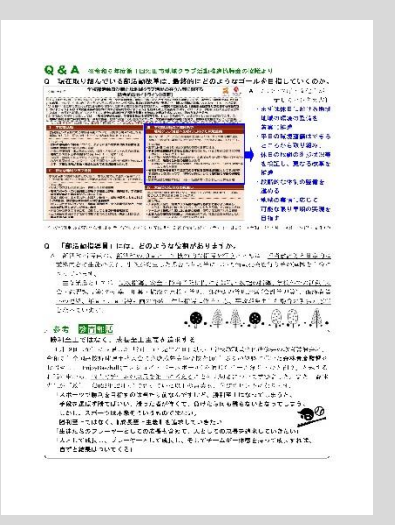
















【部活動地域展開リーフレット　出典:沼田市教育委員会

2.実証内容と成果④

スポーツ庁

参考資料（活動写真）



【スポーツ総合探究】



【エアロビック】



【剣道】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和５年

沼田市地域クラブ活動推進協議会 ▶ 沼田市立中学校部活動地域展開推進計画策定 ▶ 受け皿団体指導者の選定 ▶ 各団体への依頼 地域展開リーフレットの配布・掲載による周知 ▶

令和６年

地域クラブ活動の開始 ▶ 沼田市地域クラブ活動推進協議会 座談会 各団体のとの情報交換

●ステークホルダー

○沼田市地域クラブ活動推進協議会、市スポーツ協会、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ、市文化協会代表、小中学校長会協議会 市中体連、PTA連合会、教育長

●経過

○令和5年度より沼田市地域クラブ活動推進協議会を設置し、沼田市立中学校部活動地域展開推進計画を策定した。令和6年度から開始する地域展開実証事業に参加いただくように各関係団体に依頼し、学校・生徒・保護者・地域へ周知を図るため、リーフレットの配布、市ホームページへ掲載を行った。

●実施内容

○令和6年4月から、地域展開へ参加する試験的な取組を開始した。地域展開は5団体が活動に取り組み、基本的に市内全域の児童や生徒を対象として活動することで、体験機会を設定にしたり、学校部活動にないスポーツなどを親しめたりすることを目的とした。

●実施にあたって生じた課題

○中学校の休日部活動は土曜日に実施されることが多く、日程が重複しない日曜日実施を多く設定している団体もあり、土・日曜日のどちらかは休むというスタイルが習慣付いているため、参加者が伸び悩んでいる一面もある。また、活動場所の確保も難しいこともある。中学生に限らず、幅広い世代で活動ができると、指導者の確保につながったり、平日の活動も実現できたり、地域で取り組めるようにり、より地域展開が促進されると感じる。

●今後の展開

○次年度は、関係部署の連携を一層図り、連携体制の構築、実証事業参加団体や各団体の指導者との情報交換や連携をこれからも強化していき、各関係団体の活動が充実できるように取り組んでいきたい。また、大きな課題であるが、平日も関わっていける指導者の確保と枠組み、多くの受け皿を増やせるような土台となる環境作りを充実することができるよう、今年度の活動実績を継続しながら検討していきたい。